

第5学年 外国語活動学習指導案

1組 計27人 (男子14人, 女子13人)

指導者 河 原 千 夏

1 単 元 「My special時間割を作ろう」 (英語ノート1 Lesson8「時間割を作ろう」)

2 単元について

(1) 単元の構想

本単元では、コミュニケーションの場面として、子どもの身近な暮らしに関わる場面を取り上げた活動を設定する。具体的には、学校での学習や活動における表現として時間割を作成し、曜日や教科に関する表現に慣れ親しませるようにする。また、中国やオーストラリアなど外国の学校ではどのような教科を学習しているのか知り、日本の学校とは教科数が違う、外国でも日本語が学習されているという文化の違いやおもしろさに気付くことができるようにする。さらに、自分だけのMy special時間割を作り、それをショー・アンド・テル形式で発表することで、自分の考えを話したり、友だちの発表を聞いたりすることができるようにするとともに、お互いの発表のよさ、考えのよさも知ることができるようにする。

子どもたちはこれまでに、外国でのあいさつの仕方や気持ちを表すための表現方法、身近な外来語などについて知り、英語を中心とした外国語の音声に慣れ親しんできている。また、数の数え方や自分を指し示したり、相手と呼んだりするときのジェスチャーの違いといった言語や文化の違いに気付いている。このような学習を通して、子どもたちの中には、もっといろいろな外国語を知りたい、外国の文化を知りたい、自分でも話してみたいというコミュニケーションへの意欲が高まっている子どももいる。

本単元における、オリジナルの物を作ったり、紹介したりする活動は、Lesson9「ランチ・メニューを作ろう」の学習へと発展する。

(2) 指導の基本的な立場

本単元の学習を進めるに当たって、英語ノートの効果的な活用や体験的な活動の進め方について次のことに留意して指導していきたい。

まず、英語ノートの効果的な活用として、取り扱う順序を入れ替える。具体的には、本単元を中心となる表現である曜日や教科の名前について子どもたちが十分に聞き、慣れ親しむことができるようにするために、英語ノートに示されている順ではなく、十分に聞いた上で音声に対するイメージを得る活動や取り扱う語彙を精選し、ゲーム等の中で子どもが自信をもって発話する活動から始めるなど、活動のねらいを明確にした上で指導したい。実際の活動においては、「自分と同じカードを持っている相手を探したい」「友達と同じカードがあった」というように、子どもが活動に対する必要感や達成感を味わわせる中でコミュニケーションの楽しさを体験させるようにしたい。また、単元末のグループで話し合っ、自分たちの時間割を作り、発表する活動においても子どもが単に発表することに終始するのではなく、「自分の時間割について友達に話したい」という意欲をもてるようにしたい。そのためには、全体で発表する前にグループ内で発表したり、クイズ形式にしたりして学習形態を工夫したい。

さらに、単元全体を通して電子黒板を中心としたICT機器を活用し、音声だけでなく画像を提示して子どもの言語や文化に関する気付きを促せるようにしたい。

このよう学習を通して、子どもが友達や教師と積極的にコミュニケーションを図る楽しさを実感し、次の学習への新たな意欲をもって取り組むことができるようにしたい。

(3) 子どもの実態（調査人数25人，質問紙法，数字は人数）

項 目	回 答		
外国語活動は好きですか。	好き（19） どちらかと言えば好き（5） あまり好きではない（1） 嫌い（0）		
その理由は何ですか。	好き・どちらかと言えば好き	あまり好きではない	
	・ゲームが楽しいから（12） ・外国の言葉・文化を知ることができるから（6） ・将来のためになるから（2） ・英語で会話できるから（2） ・発音がおもしろいから（1） ・あまり分からないから（1）	・難しいから（1）	
どんな活動が好きですか。（複数回答あり）	・ゲーム（22） ・電子黒板をさわる（15） ・ものづくり（15） ・歌（11） ・友達と話す（9） ・外国の文化についての話（9） ・聞いたことを発音する（8） ・英語の音声を聞く（6）		
人と話をすることは好きですか。（外国語を使って） その理由は何ですか。	好き（14）	どちらかと言えば好き（6）	あまり好きではない（5）
	・色々と分かる（4） ・楽しい（3） ・少し話せる（2） ・外国語が上手に使える（2） ・発音が好き（2） ・外国人になった気分（1）	・たまに分からない（4） ・恥ずかしい（1） ・そんなに好きではない（1） ・話せない（2） ・分からない（1） ・間違えたら恥ずかしい（1）	・きつい（1）
人と話をすることは好きですか。（外国語活動以外で） その理由は何ですか。	好き（20）	どちらかと言えば好き（5）	
	・楽しい気分になれるから（7） ・話題があるから（4） ・日本語なら分かるから（3） ・人と話していると元気になるから（2） ・言葉が面白いから（1） ・仲良くなれるから（1） ・知らないことが分かるから（1）	・楽しいから（2） ・相手のことが分かるから（1） ・日本語なら分かるから（2） ・まだよく言葉を知らないから（1）	
外国語活動で困ることや難しい と思うことはどんなことですか。	○曜日と日付を尋ねられたときの発音の聞き分け ○難しい		
自分で時間割を作るとした ら、どんな教科や活動が あるといいと思いますか。	○ゲーム ○映画鑑賞 ○お昼寝 ○宿泊学習 ○テレビ視聴 ○水泳 ○買い物 ○サッカー ○遠足 ○工作 ○楽器演奏 ○おもちゃ ○魚釣り ○ダンス ○川遊び ○お菓子・お茶の時間		

上記から，本学級の多くの子どもが外国語活動を好意的に感じていることが分かる。1学期にとった同質問に対する数値と比較してみると，好意的に感じている子どもが増え，苦手と感じている子どもが減っていることが分かった。また，活動内容については，ゲームはほぼ全員が好む活動と言え，ものづくりについても好んでいる子どもが多いことが分かる。これは，ゲームやものづくりといった活動自体の面白さだけでなく，慣れ親しんだ単語や表現を聞いて自分の考えや思ったことを自由に表出できる活動だからであると考え。また，「電子黒板をさわる」活動については，英語ノートのデジタル教材の面白さとともに操作自体が子どもたちの興味・関心をひくものであるということが分かる。活動中は常に電子黒板を使用しており，「さわってみたい」という欲求から，活動に対して意欲的に取り組むことも分かった。

また，人とのコミュニケーションについて，外国語を使って話をすることを好む子どもは学級全体の8割である。外国語を使って意思疎通を図ることができたときのうれしさや話せると感じたときの喜びを理由として挙げている。一方，あまり好んでいない子どもには，うまく伝えられないという思いがあることが分かる。しかし，母語でのコミュニケーションは全員が好んでおり，相手に内容が伝わる喜びや伝わってきたときのうれしさを理由として挙げている子どもが多く，コミュニケーションには自分や相手の気持ちや考えを伝え合うことが必至であるということが分かる。また，「自分で時間割を作るとしたら」という問いに，ゲームや宿泊学習，魚釣りなど様々なアイディアが出されており，この子どもの思いや考えを生かすことが必要である。

これらのことから，安心してコミュニケーションを図ることができるような雰囲気づくりに努め，コミュニケーションを図る必然性のある活動を設定する必要がある。

3 目 標

- (1) My special時間割を作り、その内容を積極的に伝え合おうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 時間割を作ったり、紹介したりする活動を通して、教科名や曜日などの言い方に慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- (3) 日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点に気付き、外国の小学校の学校生活に興味をもつ。
(言語や文化に関する気付き)

4 指 導 計 画 (全4時間)

 学習課題
 子どもの活動
 子どもの意識
 評価項目及び評価方法

過程	学 習 活 動	教師の具体的な働きかけ
意 欲 を も つ (1)	教科の言い方や曜日の名前を知ろう。 ・ "Sunday, Monday, Tuesday" を歌う。 ・ 時間割当てクイズをする。 ・ 教科名を英語で言ってみる。 ・ ピンゴゲームをする。 ※ 英語ノート P 52・53 ・ 曜日の言い方は聞いたことがあるぞ。 ・ 何曜日の時間割がよく聞いてみよう。 ・ 教科の名前は難しそうだけど、言ってみよう。 ・ 体育はP.E.と言うんだね。 ・ 同じカードを持っている友達をさがすぞ。	○ 歌を歌うことで曜日の言い方に慣れ親しませる。 ○ まず、教師が作ったカードを使うことで、相手を見つけやすくする。 ○ 英語ノートのカードを活用し、オリジナルのピンゴを作れるようにする。 歌やクイズ、ゲームを通して曜日の言い方や教科の名前の表現に慣れ親しんでいたか。【外国語への慣れ親しみ：行動観察・振り返りシート】
	外国の時間割を知ろう。 ・ "Sunday, Monday, Tuesday" を歌う。 ・ 電子黒板の音声や画像をヒントにどこの国の時間割か考える。 ・ 外国の教科書当てクイズをする。 ・ ジェスチャークイズをする。 ※ 英語ノート P 50・51 ・ 曜日の言い方にも慣れてきたぞ。 ・ 国によって教科が違うんだね。 ・ 外国でも日本語を学習するところがあるんだね。 ・ ○○さんのジェスチャーが分かりやすいね。	○ 電子黒板で音声と画像を同時に提示し、国旗をヒントに外国の時間割を考えることができるようにする。 ○ 教科書の絵を提示しながら、日本と外国の教科の共通点や違いに気付かせるようにする。 外国の時間割に興味をもち、日本との共通点や違いに気付いていたか。【言語や文化に関する気付き：行動観察・振り返りシート】
楽 し む (1)	My special時間割を作ろう。 ・ チャンツをする。 ・ 「先生当てクイズ」をする。 ・ My special時間割を作る。 ※ 英語ノート P 54 ・ 社会や理科の言い方が難しいなあ。 ・ どんな教科を入れようかな。 ・ 僕だけのMy Special時間割ができたぞ。	○ 電子黒板上でクイズの答えを子どもに発表させ、共通の場で確かめができるようにする ○ オリジナルの教科を1コマ入れられるようにし、時間割作りに意欲をもてるようにする。 意欲をもってMy special時間割を作っていたか。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度行動観察・英語ノート】
	My special時間割を発表しよう。(本時) ・ チャンツをする。 ・ グループ内でMy special時間割を発表する ・ ショー・アンド・テル形式で「時間割当てクイズ」をする。 ・ 本単元の活動を振り返る。 ※ 英語ノート P 55 ・ だれがどんな時間割を作っているのかな。 ・ ○○さんの時間割はおもしろいね。 ・ ○○さんのジェスチャーが分かりやすいね。	○ 前時に作った時間割をグループ内で紹介させ、自信をもって発表できるようにする。 ○ 友達の発表のよさや考えのよさを伝え合い、単元全体の学習の成果を感じられるようにする。 グループで作成した時間割を発表することで友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わっていたか。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度行動観察・振り返りシート】
振 り 返 る (1)		

5 本 時 (4 / 4)

(1) 目 標

グループで作成した時間割を発表することを通して、友達とコミュニケーションを図る楽しさを知る。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 展 開

☆はICT機器活用上の留意点

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ	準 備
意欲をもつ・つかむ	1 始めのあいさつをする。 2 ウォーム・アップ 教科のチャンツを言う。 3 本時のめあてをつかむ。 どのグループのスペシャル時間割が当てよう。	(分) ↑ 8 ↓	○ 元気よくあいさつをし、積極的に学習しようとする雰囲気を作る。 ○ リズムよく教科の名前を英語で言えるように楽器でテンポをとる。 ☆ デジタル教材で音声を確認する。 ○ クイズ形式で発表することを伝えて、活動への意欲と見通しをもたせるようにする。	絵カード 楽器 電子黒板 デジタル教材
楽しむ	4 Activity (英語ノートp.55) 自分が作ったスペシャル時間割をグループ内で発表する。 (1) 曜日ごとに発表する。 (2) スペシャル時間割を入れた理由を発表する。 (3) グループ発表の代表となる3人(3つの曜日)を決める。 5 時間割当てクイズをする。 (1) 1グループずつ前に出てきて、ヒントとなる3つの曜日の時間割を言う。 (2) ヒントをもとに、どの時間割のことを言っているかを当てる。	↑ 30 ↓	○ 少人数のグループ活動にすることで、発表に対する不安を和らげたり、次の活動への準備の時間となったりするようにする。 ○ スペシャル時間割を入れた理由をそれぞれに発表させることで、相手に対する興味をもたせるようにする。 ○ 自分のオリジナルのスペシャル時間割については、言葉での表現だけでなく、ジェスチャーや絵などを使って相手に伝えるようにさせる。 ○ どのグループの時間割かが特定できないように黒板に提示する。 ○ クイズをより楽しむために、ジェスチャーを入れたり、曜日を言う順番を工夫したりしているグループがあれば、褒めるようにする。 ○ スペシャル時間割をいれた理由について発表する場をこの活動でも設けるようにする。	英語ノート 前時に作成した時間割シート(掲示用)
振り返る	6 本時の学習を振り返る。 (1) 振り返りシートに記入する。 (2) 記入したことを発表する。 7 終わりのあいさつをする。	↑ 7 ↓	○ 楽しく活動できていたことを褒め、感想を交流させ、お互いのよさを認め合えるようにする。 ○ 単元を通しての子どもたちの伸びを褒め、次単元の予告をする。	振り返りシート

(3) 評 価

グループで作成した時間割を発表することで、友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わっているか。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】